

Powersoft X シリーズ クイックスタートガイド

4/8 チャンネル ツアーリング用アンプ





株式会社オーディオブレインズ

ご挨拶

数あるパワーアンプから X シリーズをご採用いただき誠にありがとうございます。 末永く機器をご使用いただくために、こちらの書類を一読いただき、ご使用環境に合わせて、設定を進めていくうえで、参考としていた だけると幸いです。

X シリーズの全ての設定は Powersoft アンプリモートソフトウェアの Armonia Plus によって行います。 詳細な方法に関しては別紙『Armonía Plus アプリケーションノート』を参照ください。

https://audiobrains.com/data/powersoft/manual/armoniaplus_an.pdf



設置

パフォーマンスを安全に保つために、空冷環境にご注意ください。

最大4台まで積み重ねたスタッキングを目安にラッキングを検討してください。

この場合、背面から後ろの壁まで 50cm 以上の空間確保ができるかを確認してください。

背面に十分な空間が確保できない場合は、2 台ごとで 1U スペースを置いてください。

背面が閉ざされたラック内環境などであれば1台ごとに1Uスペースを空けるなど検討してください。

空冷の流れは前面吸気、背面排気となっているので、前面へは極力冷たい空気を、背面は可能なかぎり放熱できる環境構築を考慮して ください。



安全に関する重要事項

CE
<u>(</u>
X
Ś
A
A
A
A
A
A
A
\wedge
A

感電の危険があることをユーザーに知らせるために使用されています。

使用またはメンテナンスに関する重要な指示をユーザーに知らせるために使用されています。

- CEマークは、低電圧指令およびEMC指令に適合していることを示しています。
- アース接続マーク
- 屋内使用限定機器であることを示す記号です。
- 廃電気・電子製品(WEEE)に関する欧州連合の指令2012/19/ECに準拠していることを示す記号です。
- このユニットを高度2000メートル以上の場所で使用しないでください。
- このユニットを熱帯環境で使用しないでください。

感電の危険を避けるため、ユニットを開こうとしないでください。資格を持ったサービスに依頼してください。

電源接続は、ユニットが販売されている国が定める電気機械技術者のみ行うことができます。

電源コードがすり減っていたり、破損していたりする場合、アンプは使用しないでください。

感電を防ぐために、アンプが動作している間は、スピーカーの露出配線に触れないでください。

水またはその他の液体をアンプ内またはアンプの上にこぼさないでください。

火のついたろうそくなど、炎をアンプの上に置かないでください。

けが予防のため、この装置を設置手順に従って、フロア/壁にしっかりと取り付けてください。

IEC364またはそれに準ずる規則に準拠した電源ソケット(要アース接続)から電源を供給する必要があります。

その場所に限らず、アンプのお手入れをする際は、必ず主電源を切断してください。

Powersoft社ではプラグを16A、CまたはDカーブ、10KAセクショニングブレーカーへの接続を推奨しています。

セルフチェックを実行する前に、出力コネクター接続を切り離すことを強くお勧めします。

テスト信号により、スピーカーの不具合が発生する可能性があります。

これらの端子への配線接続は、訓練を受けた担当者による設置と市販されている導線の使用が必要です。

AC主電源プラグをパンプ差込口に正しく接続してください。

アンプの電源を入れる前に、使用されている電圧が正しいか確認してください。

お使いの主電源がデバイスの定格電力を満たしているか確認してください。

デバイスの電源を入れる前に、出力端子をロックしてください。



このユニットは、お客様の安全を確保できるように設計・製造されています。

しかしながら、誤った使用は、感電または火災の潜在的危険につながります。

この製品に装備されている安全対策を正しく使用するため、その設置と使用に関する以下の基本ルールを遵守する必要があります。使 用前に、必ずこれらの「重要な安全対策」をお読みください。

- ●これらの指示をお読みください。
- ●これらの指示を守ってください。
- すべての警告に注意を払ってください。
- ●すべての指示に従ってください。
- ●本機器を水の近くで使用しないでください。
- ●お手入れの際は必ず乾いた布を使用してください。

●通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従い設置してください。

●ラジエーター、ヒーター、ストーブなどの熱源の近くには設置しないでください。

●有極プラグまたはアース付きプラグは安全を考慮したものとなっています。破壊するような行為はしないでください。極性プラグに は、2 本のブレードがあり、一方が他方よりも幅広になっています。アース付きプラグは、2 本のブレードの他に、3 本目のアース芯がつ いています。幅広のブレードや 3 本目の芯は、安全のためのものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電 気技術者に相談し、コンセントを交換してもらってください。

●電源コード、プラグ、コンセント、機器から出ている部分が引っかかって抜けたり、挟まれたりしないように保護してください。

●アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご利用ください。

●カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等は、メーカー指定のもの、もしくはこの装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートを使って、装置を載せて動かす際は、つっかけて怪我をしないよう注意してください。

●雷を伴う嵐、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。

●整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気に曝された場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態で損傷した場合は、整備が必要です。

●装置は、アース接続による保護がされているメインコンセントに接続してください。

●メインプラグまたは適切なカプラーを切断装置として使用する場合、これはすぐに作動できるような状態である必要があります。 メーカーは、不適切またはアース接続の欠如に起因する人的・物的損害、またはデータの損傷に対する一切の責任を負いません。 定期メンテナンスまたは臨時メンテナンスには、認可されているサービスセンターへご連絡ください。

これらの安全要件は必ず確認してください。破損に疑う点がある場合は、資格を持った技術者による細かな点検が必要です。

■WEEE 指令

お使いの製品を廃棄する際は、可能な限り、すべての部品をリサイクルしてください。



この記号は、本製品をエンドユーザーが廃棄する際、回収およびリサイクルのため、個別の業者に回収してもらう必要があることを示しています。この製品を他の家庭ゴミから分別することで、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が削減と天然資源の節約に繋がります。

廃電気電子機器指令(WEEE指令)は、電気・電子製品が環境におよぼす影響を最小限に抑えることを目的としています。 Powersoft S.p.A.では、埋め立て処分場に処分される電気・電子製品廃棄物(WEEE)の削減を目的とした、電子機器の処分および 回収にかかる費用に関する欧州議会2012/19/EU指令を遵守しています。

当社のすべての製品にはWEEE記号が付けられており、他のゴミと一緒に処分することはできません。そのため、ユーザーは自らの責 任で、認可を受けている電気・電子機器処分業者に依頼するか、Powersoft S.p.A.に返却してください。リサイクルのために廃棄機器 をどこに送ればいいかなどに関する詳細は、Powersoft S.p.A.または各地の販売代理店にお問い合わせください。

はじめに

■梱包内容

この製品に含まれている物は以下の通りです。

- ●X シリーズアンプ 1 台
- ●マルチ言語ガイド 1冊
- ●日本語セットアップガイド 1枚

■設置

アンプを風通しの良いラックに入れてください。 ラックの前後をラックへしっかり固定してください。 アンプの電源は必ずブレーカーを通す回路へ接続してください。 アンプは EMF 発信装置から離れたところに設置する必要があります。 熱源近くにアンプを置かないでください。

■冷却

通風孔が塞がらないように注意してください。

アンプの前後の通風孔付近は、50cm以上空間をあけてください。

X シリーズには、安定した動作温度を維持する強制空冷システムが装備されています。

前面パネルから空気が入り、アンプ背面から出ていくように設計されています。

この冷却システムには、DC 可変速ファンが備わっており、これはヒートシンクに取り付けられたセンサーによって管理されています。これにより、ファンのノイズや内部への埃の蓄積を最小限に抑えます。

オーバーヒートが発生すると、出力を抑えることで機器の温度上昇を抑制します。あまりにも機器の温度が上昇した場合は、機器の電源 を強制的にシャットダウンします。

X シリーズのアンプは、上下に積み重ねることが可能です。

適切な空気の流れを確保するため、4台おきにブランクのラックスペースを確保して下さい。

■クリーリング

フレームと前面パネルのクリーニングには乾いた布を使用してください。フィルターのクリーニングに関しては、アンプを使用する環境の埃具合に合わせて計画的に行ってください。

通気フィルターをクリーニングするには、まずフロントパネルを取り外す必要があります。

前面両端のネジを取り、フロントパネルを取り外して下さい。

このフィルターは圧縮空気を使用して埃を除去する、または清潔な水で洗ってください。(取り付ける前にフィルターを完全に乾燥させ る必要があります)

ハードウェア構成

X4 - X4L フロントパネル



- ④ Wi-Fi on/off スイッチ
- ⑥ 電源 on/off スイッチ/アンプステータス LED/ALL ミュート

⑧ USB ポート

- ⑦ CH3 ステータス LED/ミュートスイッチ
 ⑤ CH4 ステータス LED/ミュートスイッチ
- © CH1 ステータス LED/ミュートスイッチ
 © CH2 ステータス LED/ミュートスイッチ
- 田 Armonia Plus コールバックボタン

X8 フロントパネル



- ① Wi-Fi on/off スイッチ
- ② USB ポート
- ③ CH1 ステータス LED/ミュートスイッチ
- ④ CH2 ステータス LED/ミュートスイッチ
- ⑤ CH3 ステータス LED/ミュートスイッチ
- ⑥ CH4 ステータス LED/ミュートスイッチ
- ⑦ 電源 on/off スイッチ/アンプステータス LED/ALL ミュート
 - ⑧ CH5 ステータス LED/ミュートスイッチ
 - ⑨ CH6 ステータス LED/ミュートスイッチ
 - 10 CH7 ステータス LED/ミュートスイッチ
 - ① CH8 ステータス LED/ミュートスイッチ
 - ⑫ Armonia Plus コールバックボタン

X4 リアパネル



X4L リアパネル



- ④ 電源フェニックスコネクター
- B XLR: CH3&4 AES3 インプット
- © XLR : CH1&2 AES3 インプット
- D XLR: CH4 アナログインプット
- ⑥ XLR: CH3 アナログインプット
- ⑦ XLR: CH2 アナログインプット
- G XLR: CH1 アナログインプット
- ^① Remote on/off 端子
- ① イーサーネットポート(プライマリー)
- ① イーサーネットポート(セカンダリー)
- ⑥ NL4: CH3&4 アウトプット(CH3:1± / CH4:2±)
- ① NL4: CH1&2 アウトプット(CH1:1± / CH2:2±)
- M NL4 : CH2 アウトプット(CH2 : 1±)
- NL4: CH4 アウトプット(CH4:1±)
- ◎ NL8 : CH1~4 アウトプット(CH1 : 1± / CH2 : 2± / CH3 : 3± / CH4 : 4±)

X8 リアパネル



- ① 電源フェニックスコネクター
- ② XLR: CH7&8 AES3 インプット
- ③ NL4:CH7&8 アウトプット(CH7:1± / CH8:2±)
- ④ NL4:CH5&6 アウトプット(CH5:1± / CH6:2±)
- ⑤ XLR : CH5&6 AES3 インプット
- ⑥ XLR : CH3&4 AES3 インプット
- ⑦ NL4:CH3&4 アウトプット(CH3:1± / CH4:2±)
- ⑧ NL4:CH1&2 アウトプット(CH1:1± / CH2:2±)
- ⑨ XLR : CH1&2 AES3 インプット
- ⑩ イーサーネットポート(セカンダリー)
- ① Remote on/off 端子
- 12 イーサーネットポート(プライマリー)
- ③ XLR: CH8 アナログインプット
- ④ XLR: CH7 アナログインプット
- 15 XLR: CH6 アナログインプット
- 16 XLR: CH5 アナログインプット
- 1 XLR: CH4 アナログインプット
- 18 XLR: CH3 アナログインプット
- 19 XLR: CH2 アナログインプット
- 2 XLR: CH1 アナログインプット

フロントスイッチの機能

■電源 ON/OFF

電源ケーブルを挿入すると中央の LED が白く点滅します。中央のボタンを長押しして電源を入れてください。 電源の ON/OFF は中央のボタンを長押しすることで切り替えることができます。



24VDC REM ON/OFF

リアパネルの 24VDC REM ON/OFF 端子を使用すると遠隔で電源の ON/OFF をすることができます。

端子に 24 VDC±10%の電圧(最大 10 mA)を受けることにより、アンプの電源を OFF にすることができます。

※Armonia Plus との通信も切断されます。

端子から電圧が取り除かれると、電源は ON になります。

■ミュート機能

真ん中のボタンを短い時間押すことで全てのアウトプットをミュートすることができます。



その両脇に配置されたボタンが各アウトプットのミュートボタンとなります。 ※Armonia Plus と通信中は、ソフトウェア優先となり操作できません。



ミュートがオンになると LED はオレンジに点灯します。

オレンジ色に点滅していた場合は、Armonia Plus のグループミュートがオンになっています。 グループミュートを解除する場合は、Armonia Plus からミュートを解除してください。

■Wi-fi アクセス機能

フロントパネル正面の左側ボタンが Wi-Fi 機能の ON/OFF スイッチとなります。



SSID に Powersoft-X-xxxxxxx(シリアル番号)が出現しますのでスマートフォンまたはその他の Wi-Fi 対応デバイスでアンプに接続します。

デフォルトのパスワードは「0123456789」です。パスワードは Armonia Plus で変更が可能です。

Wi-Fi に接続できたら、Web ブラウザー(Firefox、Safari、Chrome 推奨)を開き、IP アドレス<192.168.0.1>を入力します。ス マートフォンをご使用の場合は、「横使い」にてご使用ください。

Nuova scheda	×	+
$\leftrightarrow \rightarrow G$	192.168.0.1	

これでウェブ App にアクセスし以下の画面より、各操作が可能です。

	ыңа	матних	ATIV FO	SPEAKER	олтрит сн	
0	Analog 1		EQ		Speaker Model - M	
0	Analog 2		EQ		Speaker Model .	GUI
3	Analog 3		EQ		Spester Model - M	
٩	Analog 4		EQ		Spesiter Model	
6	Analog 5		EQ		Spesker Model - M	STANDBY
6	Analog 6		EQ		Speaker Model	GANG
Ø			EQ			SNAPSHOTS
9	Analog /					CONFIG
0	Analog 8		EQ		speaker Model . M	RESET

・インプット/アウトプットチャンネルメータ監視

・マトリックス制御

・Advance EQ 制御

・ゲインコントロール

MUTE

・DSP / CPU の駆動状況

·1 次側電源監視

・スナップショット切替え

ブラウザベースのアクセスになるため、Windows / Mac 問わずに、PC・タブレット/スマートフォンなど様々なデバイスからアクセスすることができます。

■コールバック機能

下図の赤丸は、Armonia Plus ソフトウェアと通信確認を行う コールバックボタンになります。



コールバック機能を使うと、すべてのチャンネル LED が白点滅となります。

Armonia Plus 接続中にこのボタンを押すことによってワークスペースに配置した X が黄色枠に代わります。Armonia Plus 側から は該当の X をワークスペースで右クリックすると、該当の実機 X フロントボタンが点滅して、オンライン状態を相互確認することができ ます。

■ファームウェアの更新

本体 USB ソケットからアップデート

USB 経由で行う場合、"update-version#-model.bin"ファイルを挿入する USB へ入れてください。



アンプの電源 ON の状態で、USB ドライブを差し込み、"コールバック"ボタンを長押ししてください。 Armonia Plus 経由同様に、自動でアップデート作業が行われます。 ファームウェアのアップデートが完了するとアンプが自動的にリブートされます。

Armonia Plus を介して

ファームウェアのバージョンを更新するにはリモートソフトウェアの Armonia Plus を使用します。 最新のファームウェアのバージョンは下記より参照することができます。

https://www.powersoft.com/en/software/armoniaplus/

具体的なファームウェアのバージョンアップの方法は別紙の『Armonia Plus アプリケーションノート』を参照してください。

※<u>P1</u>参照

接続

■アナログ入力の接続

各モデルにはチャンネルに対応した Neutrik 社の XLR コネクターが配置されています。

■デジタルオーディオ入力の接続

デジタル入力は AES3(AES / EBU)および Dante 쨃標準プロトコルをサポートしています。 ※Dante/AES67 での入力は、対応アンプのみサポート。

AES3(AES / EBU)

AES3 入力は、アナログ入力同様の Neutrik 社 XLR コネクターが配置されています。 AES3 接続は、110Ω の公称インピーダンスケーブルによって、バランスデジタル信号の形で 2 チャンネル分を伝送します。 AES3 XLR コネクターでは、HOT ピンと COLD ピンの区別は問題ではありません。ピン 2 またはピン 3(バランス信号)をピン 1(グ

ランド)に接続しないように、細心の注意を払ってください。



Dante / AES67

X シリーズのアンプは、2 つの Neutrik Ethercon コネクターに最大 16 チャンネルの Dante / AES67 を受け入れられるようになっています。

また、X シリーズは最大8チャンネルの Dante / AES67 の出力を備えています。

配線は TIA/EIA-568-B に従い、T568B のピン配置を使用してください。

Network Connector RJ45 pinout					
	China and a state of the state				
Co	lor code (TIA/EIA-568-B)	Pin			
	ORANGE / WHITE	1			
0	ORANGE	2			
	GREEN / WHITE	3			
	BLUE	4			
	BLUE / WHITE	5			
	GREEN	6			
	BROWN / WHITE	7			
0	BROWN	8			

動作モードは3つ用意されております。

・スイッチモード:2つのイーサーネットポートに Dante とコントロールの信号を流します。

・リダンダントモード:Dante をリダンダントで使用するモードです。

ETH1 が Dante プライマリーとコントロール、ETH2 が Dante セカンダリーとして使用します。

・スプリットモード:コントロールと Dante を分けるモードです。

ETH1 がコントロール、ETH2 が Dante として使用します。

このモードにすると Dante セカンダリーは使用できません。

※デフォルトはスイッチモードに設定されています。

動作モードの変更は Armonia Plus または Dante Controller から行います。

動作モードを変更すると Dante のリブートを行い、動作開始までに一定時間要するのでご注意ください。

Dante チップのファームウェアの変更は Audinate 社の" Dante controller"を使用します。

※バージョン 4.2.3 以上

https://www.audinate.com/products/software/dante-controller

※ダウンロードにはユーザー登録が必要です。

■アウトプット接続

アウトプットは以下の図に従い出力します。ハードウェア構成も参照してください。

X4,X8 は2つのアウトプットチャンネルが1つの NL4 から出力します。

X4Lは各アウトプットに1つの NL4 が配置されています。なお、奇数チャンネルのコネクターの2±からは偶数チャンネルのアウトプットが出力します。中央の NL8 からは全てのアウトプットチャンネルが出力します。



■信号用グランド

X シリーズのアンプには、グランドスイッチや端子はありません。 ユニットの信号用グランドシステムは自動制御となっています。 不快なモーター音や信号への干渉を制限するため、バランス入力接続をしてください。 安全のため、必ずユニットは専用の電源ケーブルにて本体を接地接続した状態で作動させてください。

フロント LED チャート

■チャンネル LED

電源ボタンの両脇に配置されたボタンの LED カラーによってチャンネルごとのステータスを把握することができます。各ボタンのセン ター色がアウトプットを、リング色がインプットを表します。

下図の通り、青色でアウトプットが通常動作状態を表します。

黄色でリミッターが作動している状態を表します。



オレンジ色の点灯で、アウトプット側のミュートを表し、点滅でインプット側のミュートを表します。 ※オレンジ色に点滅していた場合は、グループミュートがオンになっています。グループミュートを解除する場合は、Armonia Plus か らミュートを解除してください。



ボタンの外側リング枠の色によって、インプットのステータスを表します。 インプット信号の大きさに応じて、白 LED の輝度が変わります。 外側リングが赤 LED となるとインプット信号のクリッピングを表します。 ボタン全体が赤く点滅の場合、チャンネルのフォルトを表します。



■電源 LED

白 LED のフラッシュで、電源スタンバイを表します。

Ring color CENTRAL button					
	status				
\bigcirc	white pulsing (all LEDs off)	System powered Standby mode			
\bigcirc	red pulsing (normal operating)	fan fault detected (output stage side fan)			

外枠リングが赤 LED フラッシュで出力段に搭載されたファンのフォルトを知らせます。

Center color CENTRAL button					
	color	status			
	red blinking	power supply or PSU fan fault detected			
0	yellow blinking	power supply temperature protection active			

センターボタンの赤 LED 点滅でパワーサプライまたは電源ファンのフォルトを表します。 黄色 LED 点滅でパワーサプライの過温度プロテクションが作動していることを表します。

本体から機器の初期化

機器の初期化はコールボタンを押しながら電源ボタンを長押しして電源をいれます。



電源が入ったら電源ボタンは離し、ビープ音が 2 回鳴るまでコールボタンは押し続けてください。 ビープ音が 2 回鳴ったらコールボタンを離してください。

下図のように LED 状態が変更し、通常起動に戻ったらアンプが初期化されています。



X シリーズのスナップショットの呼び出し

X シリーズにはスナップショットである.pam ファイルを呼び出すための操作が複数存在します。

■Armonia Plus でスナップショットを呼び出す

別紙の『Armonia Plus アプリケーションノート』を参照してください。 ※P1参照

■フロントパネルでスナップショットを呼び出す

X シリーズのアンプでは、フロントパネルのボタンを使用してスナップショットを呼び出すことができます。 スナップショットリコールモードに入るには、「コールバック」ボタンを 2 回押します。



スナップショットリコールモードに入ると、データが存在するスロットに該当するボタンのリング部が白に点灯します。緑に点灯している ボタンは現在のスロットを意味します。

目的のスナップショットスロットに対応するボタンを押します。

※X4、X4L モデルでは最初の 4 スロット、X8 モデルでは最初の 8 スロット



スロットボタンを押すと、アンプは対応するスナップショットを数秒で読み込み、自動的に通常の動作状態に戻ります。



*アンプに保存されているスナップショットは、スロットボタンの白いリングで強調表示されます。 **緑色の LED が点滅している場合は、現在呼び出しているスナップショットが編集されていることを意味します。 ノート:アンプが ArmoníaPlus に接続されている場合、フロントパネル操作は無効になります。

■ウェブ App でスナップショットを呼び出す

ウェブ App へのアクセスは <u>Wi-fi アクセス機能</u>を参照してください。

ページの右側にある『SNAPSHOT』を選択します。

	NPIЛ	MATRIX	ADV EQ	SPEAKER	алял сн	
0	Analog 1		EQ		Speaker Model - M	0 ®
0	Analog 2		EQ		Speaker Model . M	
3	Analog 3		EQ		Speaker Model . M	
٩	Analog 4		EQ		Spesker Model . M	
6	Analog 5		EQ		Speaker Model - M	STANDBY
6	Analog 6		EQ		Speaker Model M	GANG
Ø	contraction of the second seco		EQ		[=====8]	SNAPSHOTS
	Analog /				Speaker Model -	CONFIG
(8)	Analog 8		EQ		Speaker Model - M	RESET

スナップショットウィンドウで、呼び出すデータを選択し、[LOAD]を押します。

スナップショットがそのアンプに呼び出されます。

SNAPSHOTS			
File		Manage	\bigcirc
or I		B	
		B	
		B	
		8	
05		B	
		8	
		B	
.08		8	
99		B	
10		B	
10.1		8	
12		8	
15		8	
141		B	
1040	STORE		

ウェブ App はアンプと直接接続されているため、一度に1つのXシリーズアンプでのみ使用できます。

■『Snapshot selector』アプリでスナップショットを呼び出す

Android の Play ストアまたは Apple の App Store から Powersoft SpA の『Snapshot Selector』アプリをダウンロードします。

Android の Play ストア

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.powersoft.snapshotselector&hl=ja



Apple の App Store

https://apps.apple.com/jp/app/snapshot-selector/id1447086857



ダウンロードが完了したら、アンプのフロントパネルにある USB ポートを介して X シリーズアンプにスマートフォンを接続します。



アプリをインストールせずにデバイスを接続すると、ストアの『Snapshot Selector』のダウンロードページに自動的にリダイレクトさ

れます



アプリを開いたら利用可能なスナップショットのリストがメイン画面に表示されます。 ダブルタップして必要なスナップショットを選択し、「OK」を押して操作を確認します。 スナップショットは、その特定の X シリーズアンプで呼び出されます。



『Snapshot Selector』アプリでは、設定メニューから次のオプションを設定できます。

- ●Preserve groups:ArmoníaPlus で作成された既存のグループを保持したまま呼び出しできます。
- ●Enable source selection:スナップショット呼び出し時に入力ソースの選択ができます。
- ●Enable backup strategy:ソースの自動切換えを有効にします。



ネットワーク接続

X シリーズのアンプは Dante ネットワークをサポートしています。 2つのギガビットポートをギガビットスイッチで内部接続することで、配線を簡単にして、小型システムでの外部ネットワークスイッチの 必要性を排除しました。 コントロールとオーディオが両方のポートに流れています。 ※Dante 対応モデルのみ。 このアンプでは AES3やアナログ入力を使用して、音声のリダンダントを設定することもできます。

■IP アドレスの取得

アンプの、デフォルトのネットワーク設定は AUTO IP になっています。 IP アドレスの設定は Armonia Plus もしくはウェブ App から変更することができます。 DHCP サーバーがネットワークにない場合、Zeroconf を使用し IP アドレスを自動的に割り当てます。 (IP アドレス : 169.254.x.x / サブネットマスク : 255.255.0.0) Armonia Plus と X シリーズはどちらも同じサブネットマスクに属する必要があります。

■ネットワーク設定の初期化

アンプが起動している状態で、Wi-fi ボタンとコールバックボタンを同時に長押しします。



ビープ音が鳴ったら両方のボタンを離してください。

下図のように LED 状態が変更し、通常起動に戻ったらネットワークが初期化されています。



AUDIO))) BRAINS

当製品に関してご質問などございましたら、以下までお気軽にお問い合わせください。 受付時間:午前10時~午後6時(土曜・日曜・祝日、年末年始を除く)

【お問い合わせ先】 株式会社オーディオブレインズ 〒216-0034 神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷3-1 TEL:044-888-6761 URL:<u>https://audiobrains.com/</u>

> 2022.4 Rev1.10.0